

## 世田谷線に更新車両「300系」を導入 平成11年7月11日（日）から営業運転開始

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：清水 仁）では、軌道線の世田谷線（三軒茶屋～下高井戸間5.0km）で1編成2両（70形）を更新し、300系車両として平成11年7月11日（日）から営業運転を開始します。

更新内容としては、「車内環境の快適性の向上」、「高齢者や車椅子利用者への配慮」、「騒音、振動の低減」「省エネルギー化・省力化」を目的にしています。

### 1. 車内環境の快適性の向上

- 従来の連結車両とは異なり、車両間の往来が可能となる貫通路ができます。
- 車体幅を現在の2.3mから2.5mに拡張することで、余裕のある車内空間となります。
- 冷房装置と温風式暖房装置を装備することで快適な車内環境を提供します。

### 2. 高齢者や車椅子利用者への配慮

- 乗降口は両開式のスライドドア（プラグドア）にすることでワイド化を図るとともに、低床化により乗降ステップを従来の2段から1段にし、スムーズな乗降が可能になります。
- 車椅子のお客様のご利用を容易にするために昇降リフトを1両につき1台装備しています。また、車内にはリフト近くに折り畳み式の座席を2脚設置し、車椅子用のスペースを確保しています。

### 3. 騒音、振動の低減

- 車体は軽量ステンレス製車両とするとともに、従来の2両4台車編成を2両3台車編成にし、台車数を減らしています。さらにパンタグラフをシングルアームにするなどの軽量化を進め、従来の車両に比べ約4トンの車両重量の軽量化を図ることで騒音、振動の低減化を図っています。

### 4. 省エネルギー・省力化

- 制御装置にVVVFインバーター方式を採用し、またブレーキには回生機能付きのブレーキ装置を採用することによってメンテナンス面での大幅な省力化と電力量の削減による省エネルギーを図っています。

同車両の車体の前面と側面はグリーンとし、今までの世田谷線電車のイメージを継承しています。

また、今回導入する「300系」の車体側面には、当社がマナーポスターのキャラクターとして採用している漫画「サザエさん」を使ったマナー広告を掲出します。これは、長谷川町子美術館（東急新玉川線桜新町駅下車）の協力を得て実現したもので、サザエさんファミリーのキャラクターが「降りたら電車からはなれて歩いてね。」といったマナー標

語を各車両の側面呼びかけているものです。

「300系車両」の概要は次のとおりです。

### 「300系」車両の概要

形 式	300系
最大寸法	23980mm（長さ）×2500mm（幅）×3627mm（高さ）
定 員	132人
最 高 速 度	40km/h
制 御 装 置	IGBT-VVVFインバータ方式 ※VVVFインバータ方式：架線から得た直流をインバータで交流に変換し、交流モーター（従来は直流モーター）により走行する装置。電力を効率よく使用できる。
ブレーキ装置	回生機能付きブレーキ ※回生ブレーキ：走行用のモーターをブレーキ時には発電機として作用させてブレーキ力を得るとともに、発生した電力を架線に戻すため、他の電車がこれを再利用することができる。省エネルギーを目的として開発されたブレーキ。
非常通報装置	乗務員との通話可能形
付 帯 設 備	車椅子用リフト設置（1編成、2台）

#### ●車体側面のマナー標語

サザエさん・・・「降りたら電車からはなれて歩いてね。」

マスオさん・・・「心のかよう席のゆずり合い。」

カツオくん・・・「駆け込み乗車はあぶないよ。」

ワカメちゃん・・・「駅はきれいに使おうね。」

※お子様にも読めるように漢字にはルビを付けています。

以 上

#### 〔参 考〕

世田谷線は明治40年に渋谷～玉川（現：二子玉川園）間に開通した旧玉川線（通称：玉電）の支線として大正14年に三軒茶屋～下高井戸間に開通した軌道線です。

その後、新玉川線の建設工事ため玉川線の本線が昭和44年5月に廃止され、同線が独立して残り、今日に至るまで世田谷区内を走る当社唯一の軌道線として世田谷区民の方がたの身近な足として親しまれています。